

【2024年度ご報告】

ソフトバンク「チャリティスマイル」プロジェクト



赤い羽根の中央共同募金会では、『ソフトバンク株式会社』が実施している携帯電話契約者向け社会貢献サービス「チャリティスマイルプロジェクト(2016年～)」の寄付をもとに、社会的養護のもとで生活する子どもたちが、社会で自立して生活するにあたり直面する様々な困難の解決に向けて、退所前および退所後に支援する助成事業を実施しています。

2024年度の助成先の活動例をご紹介します。

■チャリティスマイルプロジェクトによる助成

「困難に直面している若者に居心地よい場所を」(Masterpiece)

チャリティスマイルの助成先である一般社団法人Masterpiece(以下「Masterpiece」)はさまざまな理由で親を頼りづらい若者のサポートを行っている団体です。

Masterpieceは、虐待などの理由で親を頼りづらい若者へ、主に『居』『食』『住』の3本柱でサポート活動をしています。シェアハウスは千葉県と埼玉県に4軒、居場所は千葉県と東京都に2箇所あります。これまで、児童養護施設や、里親家庭を巣立ったり何らかの理由で親元を離れたい約400人の若者から相談を受けてきました。虐待などの体験をすると過去のトラウマに苦しみ、生活の安定にたどり着くまでがなかなか困難な道です。そういった若者たちが安心できるよう、Masterpieceは伴走しています。シェアハウスでは住居を失ったり危険な状況から逃げてくる若者への住居提供や、生活困窮者への食料提供を、居場所では孤立を防ぐ取り組みをしています。

今回の寄付金は、東京都板橋区内に新規設置した居場所「おおやまセンター」の設備の整備や備品購入に使用されました。テレビや冷蔵庫といった家電や収納、家具など、若者たちにとって居心地の良い居場所を運営するために必要な物品を購入しました。地下にある場所なので「隠れ家スタジオ」的な雰囲気 of 居場所になりました。

2024年4月中旬に居場所「おおやまセンター」を開所し、2025年3月までに延べ100回の利用がありました。若者たちはおしゃべりやボードゲーム、映画鑑賞をしたりしながら交流しています。アットホームな雰囲気、設備が充実したなかで、余暇を充実させながら過ごすことができます。生活費に余裕がなく、余暇を楽しむのが難しいと感じる若者にも映画や楽器に触れる機会を提供しています。似た経験をもつ仲間だからこそその日常の経験を分かち合える良い場となっています。

